進路通信 第1号

天王寺川中学校 進路担当
令和2年6月1日発行

ごあいさつ

昨年度に引き続いて進路指導を担当することになった矢羽田と申します。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、さまざまな社会活動が自粛となり、生徒達の進路についても不安に感じる人が多いと思います。本日から学校が再開されますが、まだまだ予断を許さない状況であります。その状況の中でも、生徒達の進路実現のため3学年職員で一致団結し、一生懸命頑張っていますので、一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

入学に必要な学力は常に変化しています

私立高校は共学化が進み、男子校や女子校はかなり少なくなっています。併願受験しやすい共学の高校は、長い時間をかけて、少しずつ難易度が上昇しています。昔は誰でも進学できると、うわさされていた高校が、そうでなくなっているケースが多くなっています。共学校への変更とともに高校名も変更されている場合も多いので、募集要項だけでなく、パンフレットなどに記載されている「沿革（その高校の歴史）」もご覧ください。

公立高校は定員が減ってきています。例年定員はその年に受検をむかえる兵庫県内の中学3年生のおよそ7割が定員となっています。10年ほど前から総合選抜制度が無くなり、複数志願選抜制度になって入学に必要な学力は高校によって異なってきています。また、公立高校（特に定員数が少ない高校）は「倍率（定員に対する受検者の割合）」によって入学に必要な学力が変わってきます。この「倍率」は毎年違うことが多く、その年ごとに難易度が変わるときがあります。また、公立高校の学力検査（5教科合計）の平均点は同じくらい（例年260～270点）ですが、教科ごとに見ると、易しい年もあれば難しい年もあります。確実に希望する高校に合格するためには日々の努力を継続し、生徒自身の学力を高めておくことが大切です。

うわさだけで判断しない

公立高校は兵庫県教育委員会から募集に関して発表があり、それに基づいて各公立高校が定員や募集要項などを決めていきます。毎年、およそ決まった時期に兵庫県教育委員会のホームページから発表がある（新聞報道は翌日）ので気になる人はホームページをこまめにチェックしてください。また、私

立高校は募集要項ができたときや定員が決まったときは中学校に連絡をするだけでなくホームページでも告知するので気になる私立高校があれば公立高校同様、ホームページをこまめにチェックしてください。他にも気になることがあれば担任の先生を通じて相談していただければ、中学校から高校へ直接問い合わせることもできます。いろいろなうわさが流れるかもしれませんが、冷静に判断していただければと思います。

さいごに

現時点で分かっていることは受験（受検）日程（私立高校入試は2月10日、公立高校推薦入試等は2月16日、公立高校一般入試は3月12日）と、兵庫県内の公立高校のオープンハイスクールや学校説明会は8月末まで中止になったことです。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、例年行われている、伊丹市等公立高等学校説明会（去年は7月4日にいたみホールで行われました）も中止となりました。各私立高校のホームページも更新されているところがあればそうでないところもあります。そこで今回の進路通信では、現時点で分かっている公立高校のオープンハイスクールや学校説明会の日程を裏面にまとめています。（次回の進路通信では、昨年、併願で受験した私立高校を中心に現時点で分かっている日程をお知らせする予定です）今年度は各家庭でインターネット等で調べていただくことが増えるかと思いますが、お子様の進路実現のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

参考URL

- ・兵庫県教育委員会 ホーム>公立高校で学ぶ>入試情報について
<https://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/nyuusi.html>
- ・兵庫県私立中学高等学校連合会
(入試情報のページに各高校へのリンクが張ってあります)
<https://www.hyogo-shigaku.or.jp/chukoren/>
- ・大阪府私立中学校高等学校連合会
<https://www.osaka-shigaku.gr.jp/>
(入試情報のページに各高校へのリンクが張ってあります)

※ もちろん「兵庫県」「高校」「公立」「私立」「入試」などのキーワードで検索をかければサイトが出てきます。ご不明な点がございましたら担任の先生を通してご相談ください。